

郡山市

認知症本人の意志を引き出すためのアクション・ミーティングの開催
～本人の声を活かす地域支援・地域づくりにむけて～

【市の概要】

- 福島県の中央に位置
- 鉄道や東北・磐越両自動車道が縦横に交差するなど、交通の利便性が高い。
- 面積：757.20km²

【基本情報】（平成30年1月末現在）

- 人口：325,646人
- 65歳以上高齢者人口：81,663人
- 高齢化率：25.08%
- 要介護認定率：17.95%
- 第1号保険料月額：5,027円（基準値）
- 日常生活圏域：20地域
- 地域包括支援センター
委託による地域包括支援センター17か所
直営による基幹型地域包括支援センター1か所
計18か所



取組の内容①

●背景

本市では、各種認知症施策（認知症サポーター養成講座、認知症サポーターステップアップ講座、認知症初期集中支援チーム、認知症地域支援推進員の配置、認知症カフェ、認知症高齢者SOS見守りネットワーク事業等）を推進している。

事業展開していく中で、認知症本人のためになっているか、本人のところに届いているかを確認したく、本人の声を聞きたいと思った。また、認知症について、地域の人々に理解してもらうためには、本人の声を届けるのが一番なのではないかとの思いから、本人の声を聞く必要があると考えた。

●事業内容

厚生労働省から委託を受けた東京都健康長寿医療センターが事業主体となり、「認知症診断直後等における認知症の人の視点を重視した支援体制構築推進のための調査研究事業」の地域支援体制構築プロジェクトを実施した。

認知症の一人ひとりがよりよく暮らしていけるよう、郡山市で取組めそうな活動（アクション）を話し合う「アクション・ミーティング」を3回行った。

今後の活動に結びつくよう、地域のメンバー（10グループ）でグループを編成した。

【参加対象者】 地域包括支援センター（認知症地域支援推進員）、小規模多機能型居宅介護、地域密着型通所介護、認知症初期集中支援チーム、認知症カフェ関係者

【スケジュール】

第1回：平成29年11月28日（火）	56名出席
第2回：平成29年12月22日（金）	43名出席
第3回：平成30年1月18日（木）	46名出席

【コーディネーター】

認知症介護研究・研修センター 永田久美子研究部長、小森由美子研究員



取組の内容②

●取組のポイント

当初は認知症本人の声を聞くための「本人ミーティング」の開催を目的としていたが、本人の声を聞く姿勢や聞く側の姿勢が重要であることに気づき、アクション・ミーティングの中では、すでに本人視点で取り組んでいる活動を話し合い、共有した。さらに、日頃活動している中で、一歩進んで、本人の声を聞けるような取り組みができないか話し合うとともに、取り組んだ状況も共有した。

●アクション・ミーティングで参加者から出された主な内容

- ・ 本人の意思や声を活発に出せる場としたい。
- ・ 「話したい!」「集まりたい!」という気持ちになってもらうという雰囲気づくりが大事。
- ・ 支援者として「本人」をみるのではなく、本人は支えられる立場ではないため、ひとりの方として接することを心がけたい。
- ・ 聞く側の意識の変化がなければ、本人の声を受け止めたり、本人の声をしっかり拾えないのではないかとと思う。
- ・ 話好きな方や話べたの方もいるため、カラオケボックスに行って、歌を通して、好きな歌を知ることによって時代背景やどんな生活をしてきたかなどを知ることができると思う。
- ・ 認知症カフェで本人の話を傾聴することにとどまっていたが、アクション・ミーティングがきっかけで「桜を見に行きたい」という本人の声を実現させたいと思うようになり、スタッフの意識が変わった。実現に向けてスタッフで検討を重ねるようになった。
- ・ 不穏状態で落ち着かないグループホームの利用者が、居室でいつでも本人の好きなコーヒーを飲みながら、テレビを見ることができるようになったら、不穏状態が落ち着いた。



など

成果と展望

取組の成果

- 本人と一人の人間として向き合い、本人視点にそって、本人の思いを受け止める姿勢が大切であるという「本人・本人たち」に対する認識（見方や考え方）が変わった。
- 本人の意志を引き出すためには、本人を集めるのではなく、本人が話したくなるような雰囲気づくりが大切であることに気づいた。
- 他事業所の本人視点の取り組みを知ることで、自分自身の意識や業務内容を見直し、日頃の業務の中で活動できないか考える機会となった。



今後の展望

- 本人ができることを支援し、本人の力を活かし、それを地域につなげることで地域の認知症の理解が深まり、本人と地域がつながることができるため、本人視点に立った取り組みを今後の地域支援体制構築に役立てていきたい。
- 来年度以降は対象者や形を変えながら、実情に応じたアクション・ミーティングを開催し、本人視点への意識の変化を広めていきたい。



【喜多方市】の概要

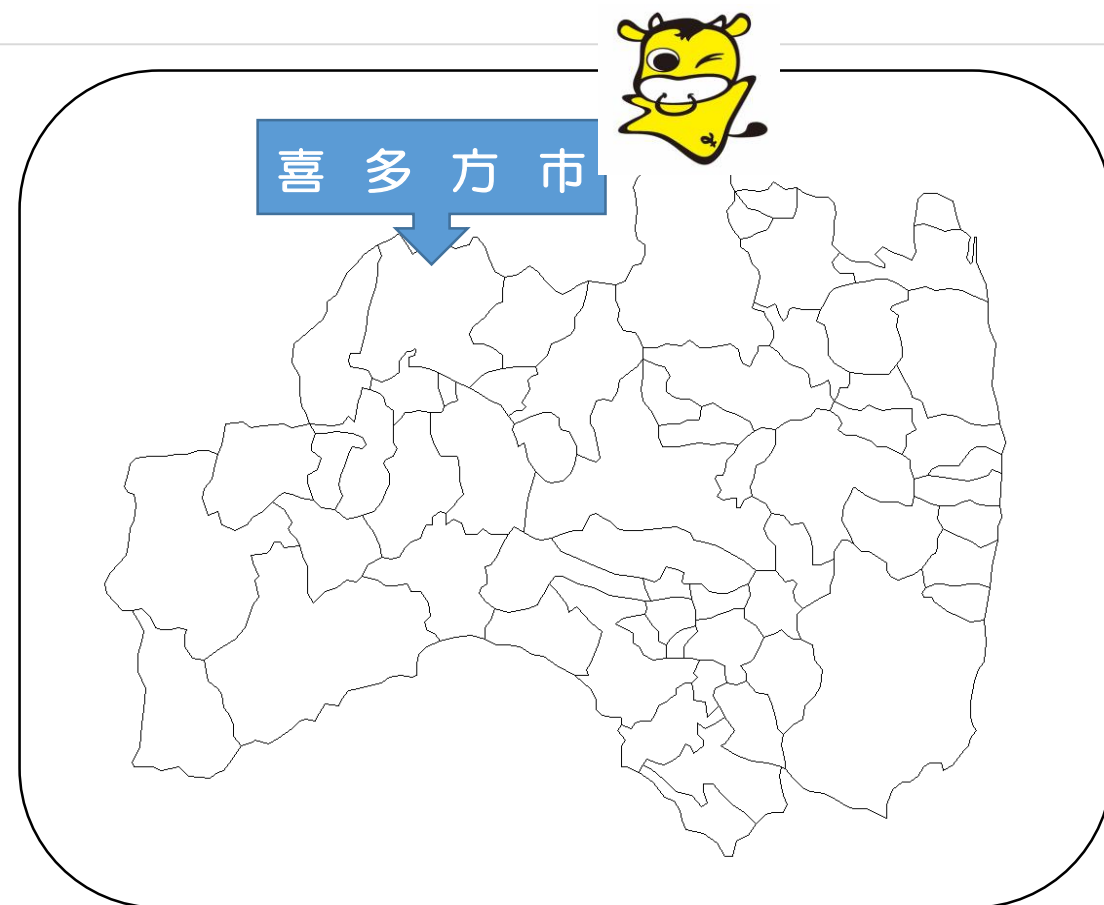
喜多方市は、会津北部に位置し、東に裾野を広げる雄国山、北西にそびえる飯豊連峰、南部を阿賀川が流れる自然豊かな農山村観光都市です。

その面積は、554.63平方キロメートルで、約6割が林野で、市の中心部から南部には市街地を囲むように田園地帯が広がっています。

【基本情報】 平成30年1月31日現在

- 人口 48,659人
- 65歳以上高齢者人口 16,571人
- 高齢化率 34.1%
- 要介護認定率 19.4%
- 第1号保険料月額 4,980円
- 認知症地域支援推進員 1名

(喜多方市住民基本台帳より)



1 認知症地域支援体制の構築

①認知症相談窓口（平成27年10月）

…認知症地域支援推進員の配置により、認知症の人とその家族、関係機関からの相談に対応している。

②認知症初期集中支援チームの設置（平成29年4月）

…昨雲会飯塚病院に委託し、初期集中支援を実施している。
各専門職からみた支援を検討し、方針を決定している。
また、チーム員会議を月1回定例化している。

③認知症ケアパスの作成（平成29年2月）

…関係機関・関係団体との協議、医師会・歯科医師会・薬剤師会、社会福祉協議会、地域包括支援センター、介護事業者部会等からの意見集約・協議、認知症施策連携会議での協議により作成する。



1 認知症地域支援体制の構築

④もの忘れ検診の実施（平成29年7月）

●背景

- 平成27年2月喜多方医師会の提案書が出され、認知症対策の推進について対応を検討する「喜多方認知症懇話会」が設立され、ネットワーク構築と認知症の早期発見・早期対応等について協議した。
- 認知症施策連携会議により、検診内容や方法について協議した。

●事業内容

- 目的 高齢者が早い段階に検査を受けることで、認知症を早期発見し、医療や介護サービスにつなげる。
- 対象者 喜多方市内に住所を有する65歳以上の方
（長期入院者や施設入所者を除く）
- 実施機関 喜多方市内14医療機関
- 検診内容 各実施医療機関で問診、簡易認知機能検査を受ける。

2 認知症についての理解の浸透

①認知症サポーターの養成

…小・中学校や介護事業所等での認知症サポーター養成講座の開催。

②認知症サポーターキャラバンメイトの育成

「オレンジ・スマイルの会」

…認知症サポーター養成講座について、
よりよい講座となるように情報交換・
意見交換を行っている。

③「認知症と共に生きる」を考える強化月間

…市内スーパーでの啓蒙活動、認知症への
理解を深める講演会の実施。



3 認知症の人を持つ家族への支援

①認知症家族介護者交流会の開催

○目的

認知症の人やその家族が、同じ立場の人と出会い、交流を図る。また、認知症の人やその家族・介護者等の意見や要望を伺い、視点に立った取組を進めていく。

○対象者 認知症の人、その家族、介護者の方。

○内容 介護者同士で日頃の悩みや対応の仕方について情報交換している。認知症の人は、手作業や歌で交流をして過ごす。



②認知症カフェの開催

…市内介護施設12カ所で毎月または隔月で開催している。

4 成果と課題

取組の成果

- 認知症家族介護者交流会に参加していた認知症の方が介護サービスの利用につながり、介護していた家族は、介護者同士のつながりもできた。
- もの忘れ検診を実施し、認知症の早期発見・早期対応について、医療機関・行政・地域包括支援センターなどの共通理解が深まった。

今後の展望

- 認知症の本人同士、介護者同士のつながりをもてる機会をつくっていく。
- 認知症サポーターが、生活の中で活動できるように支援していく。
- 認知症の早期発見・早期対応のため、活動を充実していく。
- ◎ そのための認知症 について理解を深める活動をしていく。

川俣町

高齢化率県北第1位の町

【圏域】の概要

県北地区の南東部に位置し、養蚕業・絹織物業で発展してきたが、近年は電子部品・自動車部品会社を中心となり産業構造が転換した。平成21年に比べ2,406人、率にして17%減少しており、高齢化率も30.9%から8.3%上昇しています。

【基本情報】

●人口	13,798人
●65歳以上高齢者人口	5,384人
●高齢化率	39.2%
●要介護認定率	20.6%
●第1号保険料月額	6,052円



認知症地域支援推進員としての取り組みについて

①地域包括ケアシステムの中核である地域包括支援センター内に配置されることにより、認知症を含めた総合相談窓口機能が強化された。

②認知症初期集中支援チームとの取り組み

町内の認知症（精神疾患の場合も）の相談窓口となり、チームで対応すべきケースをトリアージし、チームと共にケースに対応。

- 家族が言っても、受診しようとししないケース。
- 家族が近くにいない。いても対応しないケース。
- 症状が強く、家族では対応が無理なケースなど。

(メリット)

- ・相談窓口が一本化されていて、わかりやすい。
- ・相談窓口(支援員)→初期中チームで対応しているため、地域包括と支援員を含めたチームで対応している認識を持ってもらえる。
- ・委託先の病院に直接相談が行くことがないので、病院の負担が少ない。
- ・チームと共に対応しているので状況が把握できる。
- ・医療との連携が取りやすい。

③認知症事例検討会での取り組み

町内の介護事業所、医療機関、行政機関で認知症の人や家族の支援などに携わる方に集まっていたいただき、事例検討を通して対応方法のスキルアップを図るとともに顔の見える関係を作る。

第1回認知症事例検討会の概要

開催日 平成29年8月29日 午後6時30分～午後8時30分

医師、歯科医師、薬剤師、看護師、町内外のケアマネ、施設の相談員、リハ職、介護職員、NPO職員、民生委員、行政職（地域福祉担当者・保健師・警察） 計68名参加

初期中チームの役割と対応事例の紹介の後に事例検討と発表。

認知症事例検討会の様子



主な感想・意見

- それぞれの専門職の意見が聞けて良かった。
- ふだん交流のない人と話しができて良かった。
- 民生委員との話しは参考になった。
- グループごとの検討課題だったことで広く検討できた。
- 若い人が介護の分野で熱心にとりくんでいることが頼もしく思えた。
- 対策を線から面(住民全体)に広げる必要性を感じた。
- 関係機関が集まって勉強会を行うことで、「顔でつながる」「関係を深められる」「地域で認知症の支援を強化するきっかけ」になると思います。
- 定期開催を望みます。

成果と課題

取組の成果

- 医療との連携がスムーズになった。
- 顔と顔が見える関係（支援するネットワーク）の構築。
- 認知症ケースに対して、専門職としても、支援するネットワークとしても、対応力が向上した。

今後の展望

- 認知症事例検討会の継続
- オレンジカフェの充実
- 若年層への啓発

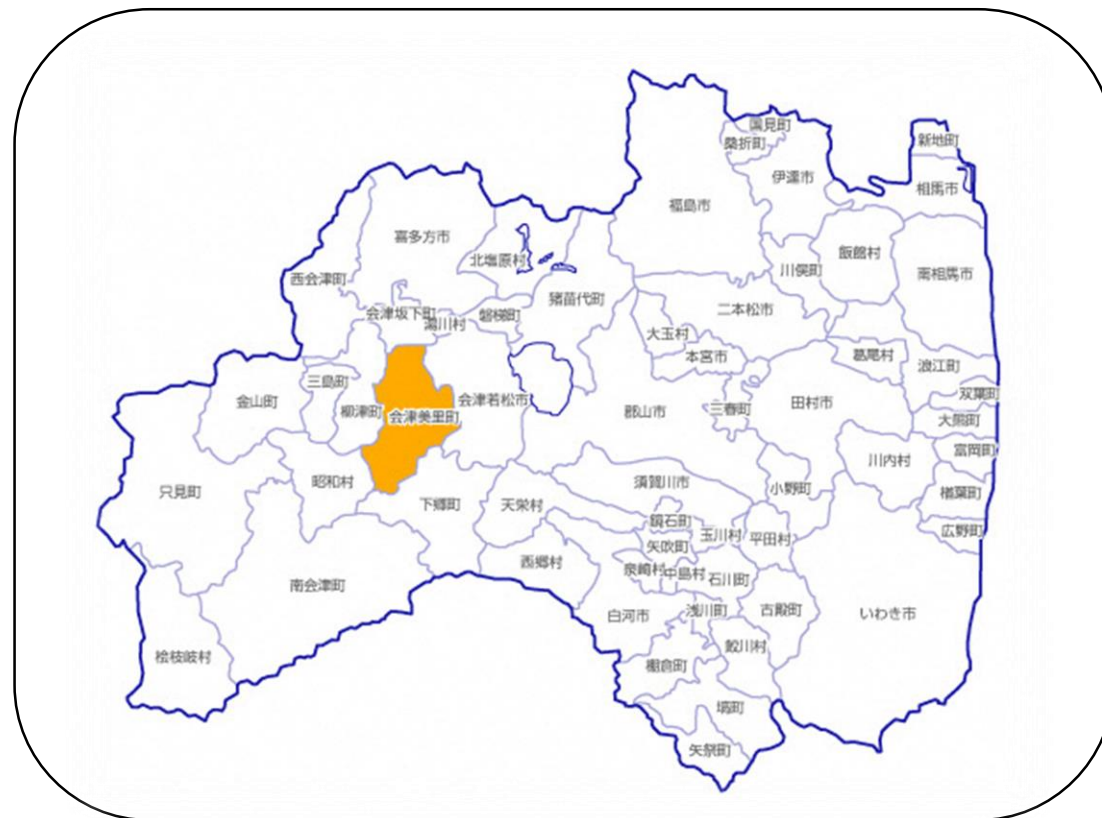


【会津美里町】の概要

会津高田町、会津本郷町、新鶴村の旧3町村が合併し、平成17年10月1日に誕生しました。
 福島県の西部に位置し、会津若松市、柳津町、会津坂下町、下郷町、昭和村に接しています。

【基本情報】

- 人口（平成30年1月1日時点）
20,799人
- 65歳以上高齢者人口
7,444人
- 高齢化率
35.8%
- 要介護認定率
21.6%
- 第1号保険料月額
5,600円



取組の内容

●背景

認知症の方やそのご家族はもちろん、専門職や地域住民の方が集い互いの交流や情報交換を行うことを目的とし、平成28年度から開催している。

●事業内容

美里カフェ

実施主体	地域包括支援センター
開催日	不定期
時間	13:30～15:00
開催場所	公民館、老人福祉センター、教会、お寺など
参加費	無料
運営スタッフ	認知症サポーター養成講座ステップアップ研修修了者 地域包括支援センタースタッフ

●取組のポイント

- ・生演奏による話しやすい雰囲気作り
- ・毎回30分程度のミニ講話を行い認知症についてみんなで理解する場を設ける

●美里カフェ in 新鶴

開催日…5月27日(土) 13:30~15:00
 場所…会津美里町新鶴公民館

●美里カフェ in 本郷

開催日…6月30日(金) 13:30~15:00
 場所…本郷老人福祉センター

●美里カフェ in 高田

開催日…9月30日(土) 13:30~15:00
 場所…高田教会

●美里カフェ in 長福寺

開催日…10月14日(土) 14:00~15:30
 場所…長福寺(高田永井野)

●美里カフェ in 新鶴

開催日…11月25日(土) 13:30~15:00
 場所…会津美里町新鶴公民館

●美里カフェ in 本郷

開催日…3月3日(土) 13:30~15:00
 場所…本郷老人福祉センター

In 新鶴 みさと美里カフェ

予約や会員不要です

認知症について話しましょう!
 ★素敵な音楽と美味しいコーヒーでおまちしています★

場所: 新鶴公民館
 日時: 平成29年11月25日(土) 13:30~

1部 13:30~ カフェタイム
2部 14:00~ ミニ講話 「認知症予防について」 後藤 大介 先生
3部 14:30~ カフェタイム

後藤 大介 先生
 福島赤十字病院精神科部長
 東北認知症疾患医療センター長

☆問い合わせ 会津美里町高齢者あんしんセンター☆
 ☆会津美里町高田甲 2866 (高田信用金庫横向かい) ☆電話 56-2256☆
 会津美里町認知症施策の一端で開催されています
 認知症カフェは、国の認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)に位置付けられています

In 本郷 みさと美里カフェ

予約や会員不要です

認知症について話しましょう!
 ★素敵な音楽と美味しいコーヒーでおまちしています★

場所: 本郷ふくしセンター
 日時: 平成30年3月3日(土) 13:30~

1部 13:30~ カフェタイム
2部 14:00~ ミニ講話 「思い出話と認知症」 半谷 弘美 さん
3部 14:30~ カフェタイム

演奏
 Harpony <はーぽにー> 様

半谷 弘美 さん

☆問い合わせ 会津美里町高齢者あんしんセンター☆
 ☆会津美里町高田甲 2866 (高田信用金庫横向かい) ☆電話 56-2256☆
 会津美里町認知症施策の一端で開催されています
 認知症カフェは、国の認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)に位置付けられています

【画像】配布用チラシ

取組の内容②



ものづくりカフェ

～手先を動かして脳を元気にしましょう～
認知症や介護の相談もできます。お気軽にどうぞ

★ 日にち：毎月第3金曜日
11月17日 12月16日 1月19日
2月16日 3月16日

★ 時間：11：00～15：00

★ 場所：あけぼのフリースペース

飲み物&材料 ￥100
軽食 ￥150

あやめの湯

あけぼの

お問い合わせは
あけぼの
電話：0242-54-5002
山田・小椋まで

本郷方面

●ものづくりカフェ

開催日…毎月第3金曜日

時間…11：00～15：00

開催場所…あけぼのフリースペース
(グループホーム)

●昭和カフェ

開催日…偶数月の15日

時間…10：00～12：00

開催場所…地域包括支援センター



お茶のみしながらみんなで昔話しましょう！

昭和かふえ

偶数月 15日
10時～12時
高齢者あんしんセンター

お茶を
いっつ出来ませす？

昔の教科書や
懐かしい写真もあります

お茶やコーヒーも
どうぞ

ふたはぼろぬい
かふってました？

二大娘やお茶屋と
昔話を…

めんこ？ぼろ？
久しぶりにどうですか？

どなたでも無料で参加できます。
お気軽にどうぞ

Facebook 始めました

会津美里町の介護や福祉の情報をみんなで共有しよう！
「みまもーる（会津美里町）」で検索！

QRコードで
みまもーるのページへ

成果と課題

取組の成果

●カフェが少しずつ浸透してきており、他の認知症施策とのつながりを作る機能を見せ始めている。

今後の展望

●カフェの基本的なやり方を変えずに内容を精査しながら、認知症をより身近なものに感じられる地域となるよう活動を続けていく。

